

ハチジョウシダモドキ

Pteris oshimensis Hieron.イノモトソウ科
Pteridaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 暖地性のシダ植物で、関東地方南部から九州にかけて分布する。本県での分布はごく希で、森林伐採や林道工事などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 豊後水道後背地域、北川上流域

分布域 本州(千葉・神奈川・伊豆半島・紀伊半島)、四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
中国、インドネシア

生育環境 低地の林内や林縁。

現 状 スギ植林地内や林縁の極めて狭い範囲に、少数の個体が生育している。

備 考 コハチジョウシダ は異名。

アイコハチジョウシダ

Pteris laurisilvicola Kurataイノモトソウ科
Pteridaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 暖地に分布するシダ植物。県内の生育地は限られており、個体数も少ない。森林伐採や林道工事などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 耶馬溪地区、豊後水道後背地域

分布域 本州(静岡・紀伊半島・山口)、四国南部、九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
中国

生育環境 低地のスギ植林地の林床。

現 状 県内の生育地は数か所で、いずれの生育地でも数個体が生育しているだけである。

ヤワラハチジョウシダ

Pteris natiensis Tagawaイノモトソウ科
Pteridaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 全国的に分布域が限られており、個体数も少ない。本県のは生育地が路肩であり、個体数も少なく、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州(紀伊半島)、四国南部、九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 低地の路傍。

現 状 現在確認されているものは畑地を通る道路沿いに生育しており、個体数は極めて少ない。

備 考 日本固有種。